

あかし教育研修センター通信

学校の多忙化に どう向き合うか!? ～働き方改革の先にあるもの～

～半径3メートルからの学校改善～

3月1日(金)第6回“あかし若手教師塾”を開催しました。今回のテーマは、「働き方改革」1月25日に中教審答申が出ました。その議論に中心に関わられた妹尾昌俊さんをお招きしました。冒頭、『時計の針が1周するくらい学校にいることはありませんか?』と尋ねられました。参加者の6割ぐらいが手をあげました。『学校でムダだなと思うことはありませんか?』近くに座っている人と話し合ってみると、色々出てきます。『では、働き方改革は、何のためでしょう?』そう問われると、一瞬考えてしまいます。妹尾さんの答えは明確です。『先生方の命を守るためです』長時間労働が深刻化している中、過労死ラインが現実のものとなっている現状について語られました。さらに『あなたは、どんな教師でいたいのですか?』と問われました。色々な思いが交錯する中で、やっぱり、授業を大切に。子どもと共にある教師。という思いが湧いてきます。『そのためには、自分を大切にしていますか?』と問われると自信がなくなってきました。人は、「本」「旅」「人」の3つのことから学ぶというお話から、最近、自分と向き合う時間が減っているなあと気づかされました。『半径3メートルからの学校改善をしてみませんか』と提案がありました。『まず、自分の働き方を可視化してみる。ワークログをとって振り返ることから始めてみませんか』というお話がありました。さっそく、明日からはじめます。

7:30~8:15	授業準備、教室で生徒と会話
8:15~8:35	職員会議、朝の学習
8:35~8:45	欠席連絡のなかった生徒の確認、特別支援を要するAさんのフォロー
8:45~12:15	授業
12:15~12:25	給食・・・早食い
12:25~12:45	生徒と雑談しながら小テスト丸付け
12:45~13:00	プリント準備、印刷

16:30~17:30	部活動指導
17:30~18:15	行事準備、分掌書類作成
18:15~19:00	B先生らと雑談しながら文書作成
19:00~20:00	Cの保護者から電話相談
20:00~20:10	休憩
20:10~21:00	翌日の授業準備
21:00	疲れた、帰る!

【ワークログの例示】



講師：学校業務改善アドバイザー
(文科省) 中教審委員 妹尾 昌俊

あ
かし
若
手
教
師
塾

発行：あかし教育研修センター

〒673-0882 明石市相生町2丁目5番15号 明石市役所北庁舎(旧保健センター)

TEL: 078-918-5815 FAX: 078-918-5817

E-mail: ed_center@city.akashi.lg.jp



過去の通信を見ることが出来ます。